

令和7年度

上田市立第二中学校の「学校評価」について

本校の学校教育目標と本年度の重点

学校教育目標

敬愛(徳)

自らを見つめ、他を思いやる中学生 → (敬愛) 憧れを抱き、自分を振り返り、共に育つ集団をつくろうとする生徒

窮理(知)

自ら学び、互いに高め合う中学生 → (窮理) 問いをもち、共に学び合い、自らの正解を導き出せる生徒

実践(体)

自らを鍛え、体を大切に作る中学生 → (実践) よりよい社会をつくろうと共にずくを出し、行動できる生徒

敬愛、窮理、実践を大事にし、さらに今年度は「問いをもつ」を合言葉に、上記の重点を設定しました。重点の達成を目指し、全職員が教育活動において取り組んでいきます。
そして「8項目の観点」によって、アンケート(生徒・職員・保護者)を実施し、本年度の重点を検証していきます。

実 施 内 容	学 校 評 価 の 観 点	
【敬愛】 重 点 目 標 伝統を大切に、生徒と教師が共に創る二中プライド	1	違いを受け止めたり、折り合いをつけたりする経験を通して、友のよさに触れ、多様性を尊重する心を育成する。
	2	学年内や異学年との交流活動における対話を重視し、今の自分の考えや行動を見つめ直し、自己理解を深められるようにする。
	3	<u>上記2項目を通して、生徒が「学校が楽しい」と感じる学校にする。</u>
【窮理】 重 点 目 標 探究的な学びで自ら学びとる二中ラーニング	4	問いをもち、生徒も教師も共に心を動かし、活発につながる授業をつくる。
	5	I C T を効果的に活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図ることで、主体的・対話的で深い学びを実現する。
	6	<u>上記2項目を通して、生徒が「学習ができた、わかった」と感じる学校にする。</u>
【実践】 重 点 目 標 地域に学び、地域に貢献できる二中クリエイト	7	生徒を主体とした学級活動、学年活動、生徒会活動を充実させることで、一人一人が活躍できる場を創出する。
	8	地域を知り、地域の方から学び、自己の生き方に視点を当てたキャリア教育や総合的な学習の時間の充実を図ることで、生徒のキャリア発達を促す。